



子どもが独り立ちできるように

校長 藤森克彦

1年生が育てているアサガオが日に日にぐんぐんと伸び、紫の花が二つ三つと咲き始めました。2年生のミニトマトも実が大きく膨らんできて、今か今かと赤くなるのを待ちわびています。

さて、緊急事態宣言は解除となりましたが、未だまん延防止等重点措置が続いています。先日、区教育委員会のガイドラインに基づき今後の学校の対応についてお知らせいたしましたが、子どもたちが楽しみにしていた行事の延期や中止の判断は、健康・安全が最優先されるとはいえ残念ではありません。夏休みに実施予定だった5年生日光林間学園が、区内全小学校で中止となりました。宿泊行事については、どのようにしたら感染リスクを抑え安全にできるのか、実施を前提に半年以上前から区教育委員会と校長の代表らで何度も検討してまいりました。特に食事や入浴、部屋での過ごし方、野外活動の工夫、そして何よりも体調が思わしくない児童への緊急対応の方法など、様々なケースを想定しながら対応策を準備してきたところです。ただ林間学園は、7月下旬から約1か月間にわたり区内37校全てで安定的に実施することが求められるところであり、それも厳しい判断をせざるを得なかった一因と考えます。

6年生の日光移動教室につきましては、全ての学校を一泊二日にして9月以降実施で予定を組み替え準備しています。詳しくは7月8日の6年生保護者対象の説明会にてお伝えしますが、なによりも新型コロナウイルスの感染が収まってほしいと願うばかりです。

ところで、ある教育関係の雑誌に、子育てに悩む親の声としての記事が載っていました。それは、頑張り屋で責任感が強く、今までしっかりと子育てしてきたお母さんの話でした。下の女兒が生まれたのを機に、素直だった上の男児が急に母親のいうことを聞かなくなってしまう。お母さんはイライラし些細なことでもお兄ちゃんを叱りつけるようになり、言い知れぬ悔恨と自己嫌悪にさいなまれるようになってしまったという内容でした。子育ての責任は全て自分にあるのではないかというお母さんの強い思いが、子育ての焦りとなって自身を追い込んでしまったのかもしれない。

親は子どもの責任者であることには間違いありません。しかし、こうした親が子育ての責任者であるという考えが定着したのは高度成長期以後、ここ50年ほどのことです。当時は子たくさんでしたから、子ども一人当たりの手のかけ方がだいぶ違っていたという背景もあってか、子育ては親だけ（あるいは学校だけ）でできるものではないという意識が前提にあったようです。

昔は、お産婆さんは「取り上げ親」、最初の授乳を別の親に頼むのは「乳付け親」、名前を付けてもらうのは「名付け親」など、擬制的な親子関係をもった「仮親」ともいわれる人たちが周囲にいました。この「仮親」は、その子が独り立ちできるまで援助をし、またいい意味で干渉もしていました。実の親とその周辺の大人が子どもに様々な形でかかわっていたことで、子どもの成長に共同で責任をもとうとする意識が生まれたのでしょう。そして、子どもが成長していくにしたがって自立や親離れが自然に進み、社会集団の一員としての人間性や社会性を身に付けていくのではないのでしょうか。当然、実の親に責任はもたなくてよいということではありませんが、子育てを結び目として、大人のネットワークを大事にしながら健全育成ができたらと思います。

あと少しで夏休みです。新型コロナウイルスの影響もあって、イベントや交流機会が制限されますが、「地域ネットワーク」の中で、子どもたちが大きく健やかに成長してほしいと願うばかりです。

6年 最高学年としての役割を果たすために何ができるか

6年担任 中村 香織

1学期も後半に入り、子どもたちは最高学年としての自覚を示そうと、様々な場面で活躍を見せています。

初めてのフレンドタイムでは、担当する班の人たちと自己紹介ゲームや、次の遊びを決める話合いをしました。当日までに下学年の人たちが楽しんでもらえるようにと、皆で何度も相談しながら準備を進めてきました。下学年の人たちに対し、緊張がほぐれるようにと優しく声をかけている姿、遊びを決める話合いで堂々と進行する姿、下学年の人に気配りをする姿等、普段教室で見せない表情を見せ、頼もしさを感じました。

「準備が大変だった」、「時間配分がうまくいかなかった」など、反省も多々ありましたが、苦勞の末みんなを楽しませることができ、大きな学びにつながりました。この学びが次回のフレンドタイムにいきっていくことを願っています。

学校でしかできない経験を積み重ね、子どもたちが一回りも二回りも成長していくことを楽しみにしています。

5年 委員会活動がんばっています

5年担任 曾根原 和明

「先生、委員会に行ってきます！！」

やる気満々で委員会活動に向かう子どもの声です。今年度は12の委員会が組織され、それぞれの活動に意欲的に取り組んでいます。5年生の子どもたちに委員会で頑張っていることを聞きました。

- ・毎週欠かさずウサギ、カメのために飼育委員を頑張っています（餌やり、小屋の中の掃除）。
- ・環境委員としてSDGsの魅力や内容、そのことで起きている問題を動画にする作業をしています。
- ・掲示委員会で、みんなに元気を与えられるように名言カレンダーを書いたり、季節にあったものを飾ったりしています。

これらの活動のおかげで学校生活が充実しています。休み時間も学校のためにしっかりと仕事に取り組む5年生が誇らしいです。



4年 水はどこから

4年担任 福本 千絵

社会科で「水はどこから」という水道の学習をしています。最初に子どもたちに「水を使うのはどんなとき」と尋ねたところ、洗濯、料理、お風呂、トイレ、洗面、歯磨き、金魚の水槽の掃除、花の水やりなど、黒板に書ききれないほど出てきました。「水」は自分たちの生活の中で、毎日たくさん使われ、いかに生活に欠かせないものなのかを改めて知り、「水のこともっと知りたい」と、子どもたちから多くの声が挙がりました。「毎日、大量に使っているのに足りなくならないの」「水は、どうやって自分の家までくるのかな」「水はどうやってきれいになるのだろう」「昔の水道のことも調べてみたい」「きれいな水が出る蛇口は、学校の中にくつつあるのかな」等々。（ちなみに子どもたちが調べた学校の蛇口の数は、241個でした）

授業ではみんなで考えたり、話し合ったりすることに加えて、タブレット端末を活用して調べる学習も行っています。調べ学習をしている時間に画面をのぞくと、見ている内容はそれぞれ異なりますが、それは「何を見れば自分の知りたいことが分かるのかを自由に選んでいる」ということだと感心しつつ、見守っています。学習のまとめで、子どもたちがどんなことに興味をもって、どんな資料を参考にどんな新聞を書き上げるのか……今から楽しみにしています。



3年 はじめての・・・

3年担任 村上 剛

大型連休後、本格的に学習が始まりました。例えば「はじめての習字（正しくは書写）」。
まず道具の準備から始めました。教科書の正しい置き方を見ながら、みんな慎重に用意を
する様子から、初々しさを感じました。

初めて書いた文字は横画だけで構成されている「二」でした。一本の横画を書くだけな
のに「1、2、3」のリズムで書くことなど、鉛筆（硬筆）では経験できないことばかり
でした。

書写の目標は「硬筆で正しく書くこと」です。筆でしか経験できない筆遣いを生かして、
「はらい」「はね」「とめ」などの書き方を理解し、硬筆でも表現する。そういうことで、
字形が整った文字を書けるようにする。日本語という文化を継承する大切な学習だと考え
ています。

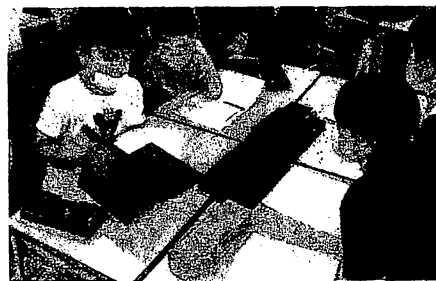
2年 あったらいいな、こんなもの

2年担任 岸田 淳生

国語で「あったらいいな、こんなもの」の学習をしました。こんな道具があったらいい
なと考えて、グループで話し合い、決まったものを発表する学習です。

現実には存在しないけれど、「こんな道具があったらいいな」と考えるのはとても楽しく、
「好きな夢が見られる枕」や「材料を入れれば自動で料理が完成する道具」、「行きたいと
ころに連れて行ってくれる乗り物」など様々なアイデアが出てきます。

その道具について、タブレットで思考ツールを使って具
体的に考えていきます。そして、それを見せ合いながらグ
ループで話し合います。話し合いのきまりを守って友達の考
えを合わせたり良いと思うものを選択したりしながら一
つのものに決めていきました。「話し合い、楽しい」「またや
りたい」と話し合いの楽しさを十分に味わった学習でした。



1年 じぶんたちでいってみよう

1年担任 滝川 幸恵

入学してから3ヵ月が経ち、学校にもすっかり慣れた様子の1年生ですが、小学校で入
ったことのある教室や関わったことのある人はそんなに多くはありません。そこで、生活
科の学習で「学校探検」をしました。どんな教室があるかを知るために教室の紹介動画
を見て探検場所を決め、グループごとに学校探検で何を知りたいかを出し合い、調べてくる
ことを話し合いました。実際の学校探検では、目をキラキラさせて教室の中にあるもの
を見たり、教室の中にいる人のお話を聞いたりしていました。今回の学校探検でますます大
井第一小学校に詳しくなり「学校、大好き！」という気持ちが芽生えるとよいです。



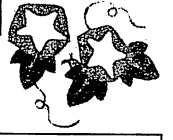
年間重点生活目標「大一ABCを身に付けよう」

今月の生活目標

生活のめあて	最後まで話を聞く ~人の話は最後まで黙って聞きましょう~
保健のめあて	ハンカチとちりがみを身に付けよう
給食のめあて	楽しく食事をしよう



の行事予定



日付	曜	主な行事	日付	曜	主な行事
1日	木		17日	土	PTAウォータースプラッシュ
2日	金	図書集会 委員会 読書週間終	18日	日	
3日	土	土曜授業日(参観なし) 避難訓練	19日	月	租税教室(6年)
4日	日		20日	火	終業式
5日	月	フレンドタイム	21日	水	夏季休業始
6日	火	放送朝会	22日	木	海の日
7日	水		23日	金	スポーツの日
8日	木	日光移動教室説明会(6年) 環境集会	◆8・9月の主な予定◆ 8/10(火)~13(金) 本校閉庁日 ・来校・電話等のお問い合わせはお控えください。 ・すまいるスクールについては後日配布の通知にてご確認ください。		
9日	金	児童集会 クラブ			
10日	土	PTA前期総会(書面)			
11日	日				
12日	月	水泳指導始 補習教室①	9/1(水)	始業式	
13日	火	放送朝会 補習教室②	9/2(木)	給食始 5年TGG	
14日	水	校内研究(1梅)	9/4(金)	土曜授業	
15日	木	補習教室③	9/7(火)	1・3・5年 保護者会14:30~	
16日	金	音楽朝会	9/9(木)	2・4・6年 保護者会14:30~	

生活指導部より

生活指導部 伊藤 知美

7月の生活目標は「最後まで聞く」です。6月19日(土)に第1回大一フレンドタイムがありました。6年生のきめ細やかな準備や下級生に対する思いやりあふれる声かけに、感心させられました。班のメンバーの児童は6年生の班長の話を真剣に聞いていました。4月に入学した1年生も上級生をお手本に、上手にお話を聞けるようになってきています。6年生の真摯な態度が下級生の聞く態度につながり、学校全体により形で浸透していることを実感しました。引き続き感染対策をしっかりと行いながら、リーダーである6年生を中心に様々な活動を通し、よりよい大井第一小学校にしていきたいと思います。

リレーコラム「かかわる・創る」

4年担任 藤田 貴城

オリンピック・パラリンピックの熱気に呼応するかのような暑い季節になりました。4年松組の子どもたちは、「助け合い、一日一日楽しもう」という学級目標を掲げ生活しています。日々友達同士で助け合いながら、みんなが過ごしやすいように楽しめるような学級にしていこうという思いと、リズムカルな標語調にすることで覚えやすくしようという考えが学級会の中で出て、このような目標を作りました。

また、4年松組はよりよい学級にしていこうために当番・係活動を始め、グループ活動から友達同士のやりとりまで一人一人が集団の中で何かを頑張ろうという姿勢が見られます。ときには仕事を忘れてしまったり、友達に任せっきりにしてしまったりすることもあります。その都度話し合いをして改善していこうという様子が見られることが彼らの良さの一つだと感じています。